高等学校 商業

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**～大問 **4** については、マーク式解答用紙に、大問 **5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1**～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 次の(1)～(10)の問いに答えよ。

(1) 高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)の第3章主として専門学科において開設される各教科 第3節商業 第2款 各科目の「目標」に関する記述として、誤っているものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

(ア)「マーケティング」では「商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、商品開発と流通に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」と示されている。

(イ)「財務会計Ⅱ」では「商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」と示されている。

(ウ)「原価計算」では「商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、原価情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」と示されている。

(エ)「ソフトウェア活用」では「商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」と示されている。

(オ)「ネットワーク管理」では「商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報資産を共有し保護する環境の提供に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」と示されている。

1 (ア)と(ウ)

2 (ア)と(エ)

3 (イ)と(ウ)

4 (イ)と(オ)

5 (エ)と(オ)

(2) 高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)の第3章主として専門学科において開設される各教科 第3節商業 第2款 各科目「課題研究」の「2 内容」において指導項目として示されていないものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1 調査、研究、実験

2 作品制作

3 産業現場等における実習

4 職業資格の取得

5 ビジネスプレゼンテーション

(3) 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）解説商業編に関する記述として、適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 教科の目標については、「商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる」とされている。
- 2 教科を4つの分野に分け、分野共通の科目を除く17科目をそれぞれの分野に位置づけた。
- 3 「ビジネス基礎」、「課題研究」、「総合実践」の3科目を「原則履修科目」としている。
- 4 「マネジメント分野」の科目は「ビジネス・コミュニケーション」、「グローバル経済」、「ビジネス法規」の3科目である。
- 5 従前の「ビジネス経済応用」については、経営資源を最適に組み合わせて適切にマネジメントを行うために必要な資質・能力を育成する観点から企業経営、ビジネスの創造などに関する指導項目を分離し、「ビジネス・マネジメント」とした。

(4) 次の製品のライフサイクルにおける「導入期」、「成長期」、「成熟期」、「衰退期」に関する記述として正しいものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- (ア) 導入期…売上高は小さいが、広告宣伝費などのプロモーションに関する経費は多額になるため、利益を確保することは難しい。
- (イ) 成長期…製品が多くの消費者に認知されて、販売が急激に増加する。この結果、大量生産が可能になり、一般に販売価格は上昇する。
- (ウ) 成熟期…競合他社との競争の激化や、代替品の出現により収益が低下していくため、製品の色彩や形状を変更するとともに、市場を縮小することが必要となる。
- (エ) 衰退期…売り上げが徐々に低下し、利益率も低下するので、プロモーションなどの経費をおさえ、商品開発やプロモーションへの投資も抑制する。

- 1 (ア) と (イ)
- 2 (ア) と (ウ)
- 3 (ア) と (エ)
- 4 (イ) と (ウ)
- 5 (ウ) と (エ)

(5) 次の文章の (ア) ~ (オ) に入る最も適切な語の正しい組合せはどれか。1 ~ 5 から一つ選べ。解答番号は

価格の変化に対して需要がどのように変化していくかを理解するためには、需要の価格弾力性を理解する必要がある。

需要の価格弾力性は、次の式で表される。

$$\text{需要の価格弾力性} = (\text{ア}) \% \div (\text{イ}) \% (\text{絶対値})$$

価格が100円の時、需要量が500個、価格が110円の時、需要量が400個になる商品の価格弾力性は (ウ) である。

この商品を値下げした場合、販売収入額は (エ) すると予想される。

一般的に生活必需品などは価格の弾力性の絶対値が比較的 (オ) なる傾向にある。

1	(ア) 需要の変化率	(イ) 価格の変化率	(ウ) 2	(エ) 増加	(オ) 大きく
2	(ア) 需要の変化率	(イ) 価格の変化率	(ウ) 0.5	(エ) 減少	(オ) 大きく
3	(ア) 需要の変化率	(イ) 価格の変化率	(ウ) 2	(エ) 増加	(オ) 小さく
4	(ア) 価格の変化率	(イ) 需要の変化率	(ウ) 2	(エ) 減少	(オ) 大きく
5	(ア) 価格の変化率	(イ) 需要の変化率	(ウ) 0.5	(エ) 増加	(オ) 小さく

(6) 次の文章のうち、誤っているものはどれか。1 ~ 5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 留置権には、留置的効力が認められており、債権者は優先弁済を受けることができる。
- 2 質権の目的物は、動産・不動産だけではなく、債権や株主権などの財産権でもよい。
- 3 抵当権は、債務者が債権者に目的物の占有を移すことなく成立する。
- 4 抵当権の目的物となるものは、不動産のほかに地上権や永小作権なども認められている。
- 5 譲渡担保の場合、占有改定によって引き渡しが行われたことになる。

(7) 次の表は、知的財産権の種類、知的財産権が保護する対象、知的財産権の存続期間を示している。表中の空欄（ア）～（エ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

知的財産権の種類	知的財産権が保護する対象	知的財産権の存続期間
特許権	自然法則を利用した技術的思想の創作のうち高度なもの	出願の日から（ア）年
商標権	文字、図形、記号、立体的形状若しくはこれらの結合又はこれらと色彩との結合であって、業として商品を生産し証明し若しくは譲渡する者がその商品について使用するもの	設定登録日から（イ）年（更新可）
（ウ）	自然法則を利用した技術的思想の創作であって、物品の形状、構造又は組合せに係るもの	出願の日から10年
（エ）	物品の形状、模様、色彩又はこれらの結合であって視覚を通じて美感を起こさせるもの	登録の日から20年

1	（ア） 20	（イ） 10	（ウ） 実用新案権	（エ） 意匠権
2	（ア） 20	（イ） 10	（ウ） 著作権	（エ） 実用新案権
3	（ア） 20	（イ） 20	（ウ） 実用新案権	（エ） 著作権
4	（ア） 10	（イ） 20	（ウ） 著作権	（エ） 意匠権
5	（ア） 10	（イ） 20	（ウ） 意匠権	（エ） 実用新案権

(8) 次の文章の（ア）～（ウ）に入る最も適切な語の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

株式会社には、1人または2人以上の取締役を置かなければならず、（ア）によって選任する。取締役の任期は、公開会社では選任後（イ）以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結のときまでであるが、定款または株主総会の決議によって短縮することができる。非公開会社では、定款によって10年以内に伸長することもできる。

会社と取締役との関係は（ウ）に関する規定にしたがい、善良なる管理者の注意をもって会社の業務を行わなければならない。その任務を怠って会社に損害を与えた場合には、損害賠償責任を負う。

1	（ア） 取締役会の決議	（イ） 3年	（ウ） 請負
2	（ア） 取締役会の決議	（イ） 2年	（ウ） 委任
3	（ア） 株主総会の決議	（イ） 3年	（ウ） 委任
4	（ア） 株主総会の決議	（イ） 3年	（ウ） 請負
5	（ア） 株主総会の決議	（イ） 2年	（ウ） 委任

(9) 次の(ア)～(オ)の文章のうち、正しいものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- (ア) 普通銀行の業務のうち、家計や企業などの余裕資金を預かる業務を受信業務という。
- (イ) 普通銀行の業務のうち、資金を必要としている家計や企業などに資金の貸し付けを行う業務を与信業務という。
- (ウ) 普通銀行の業務のうち、企業と企業との間、または企業と家計の間などの資金のやりとりを仲介する業務を引受業務という。
- (エ) 証券会社が自己資金で有価証券を売買する業務を自己売買業務という。
- (オ) 証券会社の業務のうち、新たに株式や社債などが発行される時、発行会社の委託を受けて募集および売り出しを行う業務を委託売買業務という。

- 1 (ア) (イ) (ウ)
- 2 (ア) (イ) (エ)
- 3 (ア) (エ) (オ)
- 4 (イ) (ウ) (エ)
- 5 (ウ) (エ) (オ)

(10) 仕入価格の2割の利益を見込んで予定売価をつけ、予定売価の75%で売った商品の実売価が¥450,000であった。この商品の仕入原価はいくらか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ¥375,000
- 2 ¥405,000
- 3 ¥432,000
- 4 ¥500,000
- 5 ¥562,000

2 A商店（決算年1回3月末）は、当座預金出納帳、仕入帳、売上帳、支払手形記入帳、受取手形記入帳を特殊仕訳帳として使用している。次の資料（a）、（b）、（c）にもとづいて、残高試算表を完成させ、下のア～コの問いに答えよ。なお、令和2年4月1日から4月29日までの間には、売り上げ、仕入れともに値引き、返品はなかった。

資料（a） 令和2年4月1日から4月29日までの普通仕訳帳の記録（※元丁欄は未記入である）

普通仕訳帳

令和2年		摘 要	元丁	借 方	貸 方
4	1	(保 険 料)		150,000	
		(前払保険料)			150,000
	〃	(未 払 家 賃)		55,000	
		(支 払 家 賃)			55,000
	10	(現 金)		140,000	
		(貸 付 金)			140,000
	24	(給 料) 諸 口		260,000	
		(当 座 預 金)			234,000
		(所 得 税 預 り 金)			26,000
	29	諸 口 (売 買 目 的 有 価 証 券)			350,000
		(当 座 預 金)		330,000	
		(有 価 証 券 売 却 損)		20,000	

資料（b） 令和2年4月1日から4月29日までの各種特殊仕訳帳の記録

① 当座預金出納帳

(借方) 売上欄合計	¥ 160,000	(貸方) 仕入欄合計	¥ 135,000
売掛金欄合計	¥ 522,000	買掛金欄合計	¥ 380,000
受取手形欄合計	¥ 310,000	支払手形欄合計	¥ 240,000
諸口欄合計	¥ 550,000 (※1)	諸口欄合計	¥ 625,000 (※2)
(※1内訳) 未 収 金	¥ 120,000	(※2内訳) 支 払 家 賃	¥ 211,000
受 取 利 息	¥ 100,000	借 入 金	¥ 180,000
売買目的有価証券	¥ 330,000	給 料	¥ 234,000

② 仕 入 帳

当座預金欄合計	¥ 135,000
買掛金欄合計	¥ 480,000
支払手形欄合計	¥ 396,000

③ 売 上 帳

当座預金欄合計	¥ 160,000
売掛金欄合計	¥ 890,000
受取手形欄合計	¥ 528,000

④ 支払手形記入帳

仕入欄合計	¥ 396,000
買掛金欄合計	¥ 462,000

⑤ 受取手形記入帳

売上欄合計	¥ 528,000
売掛金欄合計	¥ 389,000

資料(c) 令和2年4月30日の取引

- ① B商店から商品 ¥ 500,000を仕入れ、代金のうち ¥ 300,000はさきに受け取っていたC商店振り出しの約束手形を裏書譲渡し、残額は小切手を振り出して支払った。
- ② D商店に先週売り渡した商品に品違いがあり、5個(原価：@¥ 4,500 売価：@¥ 5,000)が返品された。なお、代金は売掛金から差し引くこととした。

残 高 試 算 表

令和2年4月30日

(単位：円)

借 方		勘 定 科 目	貸 方	
4月30日の残高	期首残高		期首残高	4月30日の残高
	405,000	現 金		
(A)	492,000	当 座 預 金		
(B)	600,000	受 取 手 形		
(C)	990,000	売 掛 金		
(D)	470,000	売 買 目 的 有 価 証 券		
	305,000	貸 付 金		
	96,000	繰 越 商 品		
	220,000	未 収 金		
	150,000	前 払 保 険 料		
	900,000	備 品		
		支 払 手 形	516,000	(E)
		買 掛 金	786,000	(F)
		借 入 金	370,000	
		所 得 税 預 り 金	26,000	
		未 払 家 賃	55,000	
		貸 倒 引 当 金	75,000	
		備 品 減 価 償 却 累 計 額	300,000	
		資 本 金	2,500,000	
		売 上		(G)
(H)		受 取 利 息		
		仕 入		
		給 料		
		保 険 料		
		支 払 家 賃		
		()		
(I)	4,628,000		4,628,000	

ア 残高試算表の（A）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 454,000
- 2 558,000
- 3 559,000
- 4 629,000
- 5 654,000

イ 残高試算表の（B）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 689,000
- 2 907,000
- 3 1,207,000
- 4 1,217,000
- 5 1,517,000

ウ 残高試算表の（C）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 944,000
- 2 969,000
- 3 1,358,000
- 4 1,880,000
- 5 2,402,000

エ 残高試算表の（D）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 120,000
- 2 140,000
- 3 330,000
- 4 350,000
- 5 470,000

オ 残高試算表の（E）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 738,000
- 2 858,000
- 3 1,134,000
- 4 1,218,000
- 5 1,614,000

カ 残高試算表の（F）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 224,000
- 2 388,000
- 3 424,000
- 4 1,184,000
- 5 1,348,000

キ 残高試算表の（G）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 1,393,000
- 2 1,553,000
- 3 1,578,000
- 4 1,713,000
- 5 1,738,000

ク 残高試算表の（H）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 980,000
- 2 1,011,000
- 3 1,376,000
- 4 1,511,000
- 5 1,646,000

ケ 残高試算表の（I）にあてはまる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 5,328,000
- 2 5,803,000
- 3 5,828,000
- 4 6,303,000
- 5 6,328,000

コ 令和2年4月1日から4月30日までの普通仕訳帳の元丁欄に「✓」の記号はいくつ入るか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 1つ
- 2 2つ
- 3 3つ
- 4 4つ
- 5 5つ

- 3 A製作所は実際原価計算を行っている。次に示した同製作所の資料にもとづいて、当月（9月）の製造原価等に関する下のア～クの問いに答えよ。

資 料

1. 各製造指図書に関するデータは、次のとおりである。

製造指図書	直接材料費	直接労務費	直接作業時間	備 考		
				着手日	完成日	引渡日
No. 501	360,000 円	290,000 円	55 時間	8 月 5 日	8 月 25 日	9 月 10 日
No. 502						
8 月	300,000 円	370,000 円	70 時間	8 月 20 日	9 月 15 日	9 月 20 日
9 月	650,000 円	640,000 円	120 時間			
No. 503	() 円	520,000 円	100 時間	9 月 15 日	9 月 25 日	未渡し
No. 504	720,000 円	() 円	60 時間	9 月 16 日	未完成	

2. 製造間接費は、直接作業時間あたり7,000円の配賦率で各指図書に予定配賦している。

3. 直接材料の当月の数量及び単価に関するデータは次のとおりである。なお、直接材料の消費価格は総平均法を用いて計算している。

月初在庫量	300個 (@2,000円)	当月消費量	800個
当月購入量	1,200個 (@2,500円)	月末在庫量	700個

4. 賃金に関するデータは次のとおりである。

前月未払高	230,000円
当月支払高	1,350,000円
当月未払高	360,000円

- ア 製造指図書No.503の直接材料費の値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 230,000円
- 2 250,000円
- 3 430,000円
- 4 550,000円
- 5 630,000円

イ 製造指図書No.504の直接労務費の値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 60,000円
- 2 190,000円
- 3 320,000円
- 4 550,000円
- 5 780,000円

ウ 製造勘定借方の月初有高にあたる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 650,000円
- 2 1,035,000円
- 3 1,160,000円
- 4 1,320,000円
- 5 2,195,000円

エ 製造勘定借方の製造間接費にあたる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 1,120,000円
- 2 1,960,000円
- 3 2,030,000円
- 4 2,450,000円
- 5 2,835,000円

オ 製造勘定貸方の月末有高にあたる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 1,230,000円
- 2 1,460,000円
- 3 1,690,000円
- 4 1,760,000円
- 5 1,820,000円

カ 製品勘定借方の月初有高にあたる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 1,035,000円
- 2 1,160,000円
- 3 1,320,000円
- 4 1,435,000円
- 5 1,540,000円

キ 製品勘定借方の当月完成高にあたる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 1,770,000円
- 2 2,130,000円
- 3 3,290,000円
- 4 3,900,000円
- 5 5,060,000円

ク 製品勘定貸方の売上原価にあたる値として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 3,290,000円
- 2 3,650,000円
- 3 3,900,000円
- 4 4,325,000円
- 5 5,060,000円

Ⅲ 「販売金額ベスト3」は、次のように作成する。

- a 「販売金額」は、「販売一覧表」の「販売金額」が降順で3番目までの「販売金額」を表示する。
- b 「店舗名」は、「販売金額」をもとに、「販売一覧表」を参照して「店舗名」を表示する。
- c 「商品名」は、「販売金額」をもとに、「販売一覧表」を参照して「商品名」を表示する。

Ⅳ 「店舗別集計表」の「店舗別合計」は、「店舗名」ごとに「販売一覧表」の「販売金額」の合計を求める。

ア C5に設定する式として適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。ただし、この式をC22までコピーする。解答番号は

- 1 =VLOOKUP(RIGHT(A5,4),\$A\$26:\$B\$31,2,FALSE)
- 2 =VLOOKUP(A26,\$A\$26:\$B\$31,2,FALSE)
- 3 =HLOOKUP(RIGHT(A5,4),\$A\$26:\$B\$31,2,FALSE)
- 4 =HLOOKUP(A26,\$A\$26:\$B\$31,2,FALSE)
- 5 =INDEX(A26,\$A\$26:\$B\$31,2,FALSE)

イ G5に設定する式として適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。ただし、この式をG22までコピーする。解答番号は

- 1 =IF(F5>=AVERAGEIF(\$A\$5:\$A\$22,A5,\$F\$5:\$F\$22),"○","")
- 2 =IF(F5>=AVERAGEIF(\$B\$5:\$B\$22,B5,\$F\$5:\$F\$22),"○","")
- 3 =IF(F5>=AVERAGEIF(\$C\$5:\$C\$22,C5,\$F\$5:\$F\$22),"○","")
- 4 =IF(F5>=RANK.AVE(A5,\$F\$5:\$F\$22,0),"○","")
- 5 =IF(F5>=RANK.AVE(B5,\$F\$5:\$F\$22,0),"○","")

ウ H26に設定する次の式の空欄a、bにあてはまる適切な組合せはどれか。1～5から一つ選べ。ただし、この式をH27にコピーする。解答番号は

=SUMIF(\$A\$5:\$A\$22, &F26& , \$F\$5:\$F\$22)

- 1 a “???” b “??”
- 2 a “??” b “???”
- 3 a “??” b “??”
- 4 a “???” b “???”
- 5 a “販売コード” b “販売金額”

エ B35に設定する式として適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。ただし、この式をB37までコピーする。解答番号は

- 1 =SMALL(\$F\$5:\$F\$22,A35)
- 2 =SMALL(\$F\$5:\$F\$22,\$A\$35)
- 3 =LARGE(\$F\$5:\$F\$22,A35)
- 4 =LARGE(\$F\$5:\$F\$22,\$A\$35)
- 5 =MAX(\$F\$5:\$F\$22)

オ C35に設定する次の式の にあてはまる適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。ただし、この式をC37までコピーする。解答番号は

=INDEX(\$B\$5:\$B\$22, (B35,\$F\$5:\$F\$22,0),1)

- 1 MATCH
- 2 MONTH
- 3 HLOOKUP
- 4 VLOOKUP
- 5 SEARCH

(2) 次の用語と説明文の組合せのうち正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

	用語	説明文
(ア)	バイナリファイル	OSやコンピュータの機種に依存しない、文字データで構成された文書ファイル。
(イ)	JPEG	画質は低下するが圧縮率が高く、写真などに適した静止画像のファイル形式。
(ウ)	PDF	受信者はコンピュータの機種や環境に影響されず、画面上で文書を再現できる電子文書のファイル形式。
(エ)	ルートディレクトリ	ファイルを階層構造で管理したとき、最上位にあるディレクトリ。
(オ)	BMF	インターネット上で標準的な画像形式として利用され、256色まで扱うことができる。

- 1 (ア) (イ) (ウ)
- 2 (ア) (ウ) (オ)
- 3 (ア) (エ) (オ)
- 4 (イ) (ウ) (エ)
- 5 (イ) (エ) (オ)

(3) 企業などが自社や自社の製品などに対して、内的要因となる「強み、弱み」と、外的要因となる「機会、脅威」の4種類に分類して評価するための手法はどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 KJ法
- 2 線形計画法
- 3 PPM分析
- 4 SWOT分析
- 5 ABC分析

(4) データの分布傾向や、ばらつきなどを調べるために、データ範囲をいくつかの区間に分け、各区間に入るデータの数をもとに柱状であらわしたグラフを何というか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 パレート図
- 2 パート図
- 3 散布図
- 4 Zグラフ
- 5 ヒストグラム

(5) データを変更するため、ユーザーAがデータCを、ユーザーBがデータDを読み込み・書き込み禁止にしている状態で、ユーザーAがデータDに、ユーザーBがデータCにアクセスしようとした場合、たがいにデータの解放を待つ状態が続くことになる。このような状態のことを何というか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 デッドロック
- 2 共有ロック
- 3 占有ロック
- 4 コミット
- 5 ロールバック

(6) 通信速度が120Mbpsの回線を利用して600MBのデータを転送する時間は何秒か。1～5から一つ選べ。解答番号は

なお、この回線の伝送効率は80%とし、その他の外部要因は考えないものとする。

- 1 40秒
- 2 45秒
- 3 50秒
- 4 55秒
- 5 60秒

5 次の(1)、(2)の問いに答えよ。

- (1) Y社はK社の発行済み株式の70%を25,000千円で取得し、支配した。なお、支配獲得日におけるY社とK社の貸借対照表は次のとおりである。また、同日におけるK社の土地の時価は14,000千円であり、それ以外の資産・負債の帳簿価額と時価は同一である。よって、
- (ア) K社の評価替えの仕訳を示せ。
- (イ) 投資と資本の相殺消去仕訳を示せ。
- (ウ) 連結貸借対照表(勘定式)を完成させよ。

貸借対照表				貸借対照表			
Y社	令和2年3月31日	(単位:千円)		K社	令和2年3月31日	(単位:千円)	
現金預金	50,000	買掛金	36,000	現金預金	15,000	買掛金	14,000
売掛金	43,000	資本金	80,000	売掛金	12,000	資本金	20,000
商品	6,000	資本剰余金	19,000	商品	4,000	資本剰余金	6,000
土地	15,000	利益剰余金	4,000	土地	11,000	利益剰余金	2,000
子会社株式	25,000				42,000		42,000
	139,000		139,000				

- (2) 次の(ア)～(カ)の取引の仕訳を示せ。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

勘定科目

現金	当座預金	受取手形	貸倒引当金	売掛金
未収金	仮払消費税	建物	建物減価償却累計額	支払手形
買掛金	借入金	未払消費税	未払社債	未払配当金
仮受消費税	保証債務	社債	資本金	資本準備金
その他資本剰余金	利益準備金	別途積立金	繰越利益剰余金	仕入
支払手数料	支払利息	手形売却損	社債利息	社債償還損
保証債務費用	災害損失	売上	有価証券利息	有価証券売却益
社債償還益	保証債務取崩益	保証債務見返		

- (ア) A商店から商品 ¥ 165,000 (税込) を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。なお、消費税率は10%であり、当店では税抜き方式で記帳している。
- (イ) B商店の店舗が火災になり、建物(取得原価 ¥ 3,000,000 減価償却累計額 ¥ 1,800,000)と商品 ¥ 300,000が焼失した。なお、保険会社とは火災保険契約を結んでいなかった。

(ウ) C商店から売掛金の代金として受け取っていたD商店振り出しE商店あての為替手形#11 ¥800,000(振出日 令和元年9月8日、満期日 令和元年11月8日、支払場所F銀行本店)を、令和元年10月10日に取引銀行で割引き、割引料を差し引かれた残額を当座預金に預け入れた。ただし、割引日数は両端入れ、割引率は年7.3%であった。

(エ) F商事株式会社は株主総会において、繰越利益剰余金を次のとおり配当および処分することを決議した。ただし、繰越利益剰余金勘定(貸方残高)は¥5,570,000である。

なお、資本金は¥30,000,000、資本準備金は¥6,800,000 利益準備金は¥520,000である。

利益準備金 会社法に規定する最低額 配当金 ¥4,200,000

別途積立金 ¥280,000

(オ) G商事株式会社は、次の条件で発行している社債のうち、発行後5年目の初頭に抽せんによって償還する額面¥20,000,000の社債を決定した。なお、抽せんする社債に対する償却原価法(定額法)の適用は、決算時に計画的に行っている。

発行条件

額面総額：¥80,000,000

払込金額：額面¥100につき¥98

償還期限：10年

利率：年4%

利払い：年2回

(カ) H商店の借入金¥2,000,000の保証人となっていたが、支払期日に返済されなかったとして、債権者から支払請求をうけたため、本日、借入金¥2,000,000および利息¥50,000について小切手を振り出して支払った。なお、保証人となった際に対照勘定を用いて処理している。